

近鉄電車 その5 京都線

近鉄京都線は 現在では 当然のごとく近鉄の一員として活躍していますが 合併されるまでは多くの紆り曲折があったと聞いています。

近鉄京都線の前身、旧奈良電鉄は JR京都駅と奈良市街を結ぶ路線として 1925年に設立され 順調に営業を続けていたが 昭和の大恐慌のときに経営が悪化し、技術的にも関係の深い京阪電鉄に合併を申し出るが 京阪電鉄側も資金的に余力が無く実を結ばなかった。この時が『幸の始まり』となり、その後しばらくは 奈良電鉄は立ち直りを見せ 京阪電鉄との関係を重視しながら、丹波駅周辺では 京阪電鉄とも相互乗り入れをするなど良好な状態を続けていたようです。

一方、戦後になって 近鉄は将 0 計画として『京都エリア』に観光の重点を置く(④) 0性を痛感して、京都は拠点を築くべく『奈良電鉄』の株の買い占めに動き出した。

他方、京阪電鉄もこれを 戦するも 企業規模の差に加えて、当時大阪 0屋橋に進出することを悲願としていた京阪電鉄は こちらに多額の投資を 0先させたために資金が回らず、この戦いに敗れ 奈良電鉄は近鉄に買収されることになった。このような血なまぐさい買収劇によって『近鉄京都線』は誕生したとのことです。

この結果、京阪電鉄は 私鉄にとっては重 0な 0素である、JRとの接続駅は 大阪、京都、奈良など主都市ターミナルには 0ない、途中駅の『京橋駅』は 0なる 0シ 0ことになりました。

加えて、近鉄による『京都線』の1500V昇圧を期に 奈良電鉄時代の京阪電鉄との相互乗り入れによる 0好のシボであった『丹波駅』の連 0線路は切断され、以降 京阪電鉄と近鉄(旧奈良電鉄部分)の相互乗り入れは解消され 京阪電車は JR京都駅に乗り入れ 0なくなった。



近鉄 京都駅



京阪電車 丹波駅連 0線跡